

平成 29 年度事業活動方針

平成 29 年 1 月 25 日

北陸経済連合会

第四次中期アクションプラン(平成 28～32 年度:以下、アクションプラン)の初年度である平成 28 年度は、北陸新幹線の金沢開業の 2 年目に入り、経済効果は当初に比べ落ち着いてきたが、乗車人員は今もなお、開業前の約 3 倍を維持しており、その経済効果は沿線の富山県、石川県のみならず福井県にも及んでいる。北陸新幹線の開業は、北陸地域のみならず、全国的に高く評価されている。

人口減少・少子高齢化の進展による労働力不足、持続可能な社会保障制度の確立や財政再建、英国のEU離脱や米国のTPP離脱表明を始めとする保護主義の台頭など課題が山積している。こうした中、安定した政権の下、経済再生のための諸改革が進められ、長年の日本経済の足かせであるデフレを脱却し、成長へとつながることが期待されている。

一方で、国内各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することが求められており、当会はアクションプランの実現に向けた取組みを進めている。

平成 28 年度は、北陸新幹線について、沿線自治体や諸団体等と一体となって要望活動を続けてきた結果、長年の懸案であった敦賀・大阪間ルートの整備方針(小浜ー京都ー新大阪)が正式に決定し、いよいよ大阪までの全線整備に向けた動きが加速することが期待される。

また、産学連携、女性活躍推進、広域観光推進等を進めた。

平成 29 年度は、前年度取組みの総括・評価と社会経済をとりまく環境変化を踏まえ、アクションプランで北陸の目指す方向性とする「地方創生のモデル地域」に向けた活動を強化していく。

「住みたい、働きたい、魅力あふれる北陸」に向けては、東京一極集中を打破し、人材の地方定着、地方回帰による定住人口増加をめざすべく、女性ならびに若者の活躍による「地域力の向上」に取り組む。

また、産学金官連携によるイノベーションの創出と企業間連携を支援する活動の充実、企業誘致に向けた大都市圏での PR 活動などの「産業振興」に取り組む。

「三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海国土軸の中核としての役割を担う北陸」に向けては、北陸新幹線の金沢・敦賀間の 2022 年度(平成 34 年度)末までの確実な開業と更なる前倒し、並びに敦賀・大阪間の詳細計画の調査・決定および建設財源確保により早期着工を実現し、2030 年(平成 42 年)頃までの一日でも早い大阪までの全線整備実現を目指す。

また、人流・物流の基盤である道路、港湾、空港等の整備促進に向けて取り組む。

「地域の魅力を積極的に国内外に発信することにより、人や企業を惹きつける北陸」に向

けては、国際化促進、首都圏等へのPR・誘客活動に取り組むとともに、引き続き当会の提唱する「ゴールデンループ」(北陸新幹線ルートと太平洋側のゴールデンルートと結び環状にした観光ルート)による広域観光の推進・強化を図っていく。

なお、昭和42年に北陸三県の総合的経済発展を願い設立された当会は、本年11月に創立50周年を迎える。この50周年にふさわしい各種企画を実施していく。

【主な事業活動】

I. 住みたい、働きたい、魅力あふれる北陸

< I-1 地域力の向上 >

- ・北陸地域内大学との連携による人材育成および域内就業促進
- ・女性活躍推進に向けた活動、北陸移住推進等
- ・社会インフラ整備促進、安全性が確認された原子力発電所の早期再稼働、観光振興、地方産業競争力強化、地域力向上等に対する要望活動

< I-2 産業振興 >

- ・域内産業集積を活かしたものづくり拠点形成に向けた支援活動の充実
- ・超スマート社会を支えるロボットやIoTなどの先端技術分野における支援活動の実施
- ・首都圏他大都市圏に対する北陸への企業誘致・イメージアップ活動

II. 三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海国土軸の中核を担う北陸

< II-1 社会基盤整備 >

- ・北陸新幹線の金沢・敦賀間の2022年度(平成34年度)末までの確実な開業と更なる前倒し、並びに敦賀・大阪間の詳細計画の調査・決定および建設財源確保による早期着工、2030年(平成42年)頃までの一日でも早い大阪までの全線整備実現
- ・スマートロジスティクスの推進に向けた情報収集、勉強会等の実施

III. 地域の魅力を積極的に国内外に発信することにより、人や企業を惹きつける北陸

< III-1 国際化推進等 >

- ・企業の国際化に関する調査、国際化展開に資するセミナー等の実施
- ・「北陸(日本)・韓国経済交流会議」、タイ、ベトナムとの経済交流会議の実施
- ・文化度の一層の高みを目指した取組み

< III-2 広域観光振興 >

- ・北陸3県の広域観光振興へのサポート「北陸三県誘客促進連携協議会」への参画
- ・北陸観光産業界への最先端の情報提供(北陸観光サロンの実施)
- ・北陸内外の知恵を活用した新たな視点からの広域観光振興(学生観光まちづくりコンテスト)
- ・修学旅行誘致など大規模観光客誘致、新たなツーリズムの創造に向けた活動

*以上の方針に基づき事業計画案を各委員会で審議・策定(2017/2~3月)の上、
会員総会で決定(2017/6月)予定